



学校短信

2023年（令和5年）7月20日
大和市立南林間中学校471号

温かい人間関係をつくろう

7月の月間努力目標：〈 生命の尊重 〉

健康で安全な生活を送るために、自分だけでなく、みんなの生命の大切さを認識しよう。

良いことをした時は気分が良い



校長 四ノ宮 和仁

梅雨のジメジメした湿度の高い気候に地域・保護者の皆様はさぞかしウンザリなさっていることだろうと思
います。一日でも早くスカッと晴れ渡る空にむくむくと入道雲が盛り上がり、うるさいほどのセミの音が響
き渡る、そんな夏本番を知らせる梅雨明けの発表を心待ちにされていることだろうとご推察いたします。

しかし、最近こんな季節の移り変わりも当たり前前の景色ではなくなってきているようにも感じます。しと
しと降る雨どころか、橋が流されてしまうような常識では考えられないような雨が降るようです。それも
2、3年前にも同じような場所で降ったようです。被害にあわれた方へは心よりお見舞い申し上げたいと思
います。「車軸を流すような雨」という大雨を表す言葉がありますが、車なんて当然で、車を何台も支える橋
すらも流されてしまうのだから気候も私たちの概念をはるかに超えた常識では考えられない変化をしている
のかもしれない。

先月6月14日、生徒総会が行われました。そこで、アメリカ合衆国、第16代大統領エイブラハム・リ
ンカーンの言葉の話をしました。リンカーンの言葉といえば「人民の、人民による、人民のための政治」と
いう有名な言葉があり、生徒総会の場ではそちらを引用して話すことが多いかもしれません。しかし、違う言
葉を紹介しました。それがとても常識的というか当たり前の言葉なのです。

「良いことをした時は気分が良い。悪いことをしたときは気分が悪い。」

大抵の人々は、自分で決心した分だけ幸せになれる。」

というものです。当たり前すぎて、特に前半の「良いことをした…。悪いことをした…。」に至ってはビック
リします。よくもこんな当たり前なことを言ったもんだと、呆れるくらいですが、真実です。良いことを実行
するのも、悪いことを選択するのも自分で決めたことなのです。そして自分で決めた分だけ気分がよくなり
幸せな気持ちになれるのです。悪いことを選択していた分だけ気分が悪くなり幸せな気持ちになれないので
す。

生徒総会の場なので、自分で決めただけではなく、是非、実行に移し、自分たちで決めた分幸せな学校を
作っていきましょう。と締めくくりました。当たり前でないこと、常識的でないことが多い世の中ですが、
極めて当たり前なことの中に真実があるように思えます。

地域・保護者の皆様、7月20日が終業式です。この「学校短信」が皆様に読まれる頃は、いつも通りだ
と梅雨明けとなっていることと思います。夏休みは本校生徒も地域や家庭に帰り過ごす時間が長くなります。
お祭りや様々な催しものも増え今まで通りの夏休みが戻ってくると思います。中学生にとっても当たり前の
夏休みを過ごすことができますようにと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

お
キャンプを終わって「挑」

6月5日～6日で山梨県の紅葉台キャンプ場に行きました。1週間前の天気予報では雨予報で、学年集会では雨天プログラムを想定して事前準備に当たっていましたが、当日は晴れてキャンプ日和な天候で迎えることができました。このキャンプに向けて4月当初より実行委員や学年レク係(盛り上げ隊)、各係を組織し、準備を進めてきました。実行委員は各クラスより2名選出し、キャンプの成功のため多くの時間を割いて活動を実施していました。キャンプのメインであるファイヤーや1日目のウォークラリーの中心は実行委員が中心となって計画を立ててきました。また、学年を象徴するイメージを1枚の旗に込めた学年旗も作成しました。デザインの段階から「これからのような学年になりたいか」という想いを込めて作成していました。



当日はそこに加え、制作係が作成したクラス旗と共にキャンプ場に設置しました。学年の様々な生徒の想いを形にすることで、キャンプ場を自分たちの生活の場にする事ができたと思います。最高の環境の中、1日目の18時30分よりファイヤーが始まりました。点火の前に昨年度のレク大会を超える人数で場を盛り上げる演出を行い、盛大なセレモニーのもと点火を行いました。各クラスの色を出しながら、それぞれのクラスがレクを運営していました。このキャンプを想定して1年次の3月に学年レク大会を行っていました。内容は各クラスが考えたレクを学年で取り組むというものでした。今回のキャンプでは、それと同様に各クラスが考えたレクをファイヤーを囲んで行いました。クラスレクの後には「進め!そっちだ!!」の曲に合わせた学年ダンスを踊りました。最高の盛り上がりで「アンコール」の声も多く、学年生徒の「まだ終わりにしたくない」という思いが伝わりました。ファイヤーの最後は実行委員生徒によるエールです。代表生徒2名によるエールは素晴らしい語りであり、感動的なものでした。これから学年としてどう成長していきたいか、方向性を明確に示してくれました。また、このエールに合わせて「火文字」も点火されました。「挑」という言葉を実行委員が考え、学年に向けたメッセージとして表現しました。学年生徒が全力を尽くして作り上げたキャンドルファイヤーが「成功」か「失敗」かはこれからの学校生活で決まると思います。ぜひ、「成功」となるように、これからも様々なことに挑戦していきましょう。

『キャンプ』

2学年 生徒実行委員長

まだクラスが始まってまもないころ始まった、キャンプの準備。実行委員、盛り上げ隊、各係活動始動。今まであまり話したことがなかった人とも、沢山のひとと協力しあって準備していきました。最初はイメージも湧かず、なんとなく進めていた部分もありましたが、一日一日たつにつれて、キャンプ当日に向けての思いが高まり、自然と一体感も増していたように思います。また、準備を通して、新しい班の人やクラスを知るきっかけにもなりました。大変なこともあったけど、やりがいや楽しさもあった期間でした。

ついにキャンプ当日。1日目。出発式では、実行委員の人が、声出しをしました。が、あまり良いスタートではなく、学年全体の意識が足りない感じでした。野鳥の森に到着したら、最初にお弁当を食べ、その後始まったウォークラリー「DANGEROUS & ADVENTURE」では班で協力して、先生からのお題をクリアしたり、配られた問題を解いたりし、全員無事にゴールできました。配られた問題は、すごく難しかったです。先生からは、お題をクリアするたびに、パーツが配られ、全て集めることである写真を完成させました。

ウォークラリーが終わったら、キャンプ場へ出発。到着してすぐに、開村式。ここまでに係の仕事が、一人ひとりありましたが、それぞれの役割を発揮しきれずにいました。整列も、あまり速いとは言えず、実行委員から班長へ声掛けをし、最高の経験、思い出にするためにも、より気合を入れていきました。すると、状況は一変。学年に活気が出て、寝具の準備を協力してやったり、炊事もスムーズに始めることができました。ご飯を食べたあとの片付けでは、班員のみんながそれぞれ率先して片付けをしました。そのため、事前に洗うのに時間がかかって2日目

も洗うことになると言われていた鉄板も、大体の班が一日目に洗い終わることができました。これらを通して、声掛けの大切さ、また、一人ひとりの少しの意識、行動が学年全員に影響するということを改めて感じました。

日が沈みだした頃、ついにキャンプファイヤーが始まりました。このキャンプに向けて準備してきたこと、それが一番発揮された場面だったんじゃないかなと思います。まずは、盛り上げ隊によるオープニングセレモニー。盛り上げ隊がキャンプの要素も入れて考えた最高のセレモニーでサングラスをかけた人や、先生のモノマネをする人に、大間知先生のきれいな歌声で大いに盛り上がりました。そして、火の神様率いる南中七福神の神たちによって火が灯されました。火が灯されると学年全員で「燃えろよ燃えろ」を大声で歌って炎を更に勢いづけ、7組からクラスで準備してきたレクが始まりました。その後、1組、3組、2組、6組、4組、と続き、最後の5組までどのレクも学年全員で楽しむことができました。クラスレクが終わりキャンプファイヤーも後半戦。緑学年を一つにするダンス、「進めそっちだ!」の音楽が流れ、全緑で踊りました。その盛り上がりの勢いでアンコールもあり、二回目のダンスは更に盛り上がりました。しかし、盛り上がるだけがキャンプファイヤーではありません。火が段々と弱くなって、雰囲気が変わると、実行委員からの説明の後、学年全員に渡された願いの火が灯されました。時間の都合上、本物の火ではなく、ランプでしたが、暗い夜空の中、ランプ、キャンプファイヤーの火だけが輝いていて、とてもきれいでした。みんなが願いをして、ランプが消え始めると、ピアノの演奏とともに実行委員による学年に向けてのエールでこれまでの思い出を振り返ったり、これからの緑学年を語って、キャンプファイヤーは幕を閉じました。

2日目。朝の活動(寝具の片付け、清掃)は、1日目に鉄板を洗い終わっていた班がほとんどだったこともあり、スムーズにおわらせることができました。朝ごはんもしっかり食べて、閉村式では、キャンプ場に感謝し、2日目の気合いをいれて、キャンプ場をあとにしました。

富士山につくと、トレッキング開始。クラスで坂を登って、最高の富士山をバックに写真を撮りました。登り下りは大変でしたが、富士山はとてもきれいでした。その後、最後に山梨名物であるほうとうを食べました。思ってたより量が多かったですが、熱々で具たくさんで美味しかったです。2日目は、全体的に落ち着いて、しっかりそれぞれが行動できていました。

今回のキャンプ、あつという間の2日間でした。学年みんなの協力もあり、それほど大きなトラブルもなく、ほとんどしおりのとおりに進めることができました。正直に言うと、始まりこそ、あまり良くありませんでしたが、そこからしっかり切り替えて、各係の仕事、自分の役割を果たすだけでなく、自分で考えて、周りのために行動できていた人もいたので、全体的には良いキャンプになったと思います。でも、誰かに言われればできる、ということとは逆に言えば、誰かに言われないと全緑を出せない、ということでもあります。このキャンプでの経験を思い出だけで終わらせるのではなく、2日間通してみつけた良いところ、良くないところをしっかりこれからの繋げ、より良い学年へと向かっていきたいです。



部活動の大会結果と今後の日程

部活動名	大会名	結果
陸上競技部	県選抜大会	男子走幅跳び 第8位
美術部	第22回カナガワビエンナーレ国際児童画展	カナガワ賞

部活動名	日程	場所
野球部	県央大会 7月21日(金)～7月24日(月)	たまがわきゅうじょう しもふくだきゅうじょう ほか 玉川球場・下福田球場 他
サッカー部	県央大会 7月21日(金)～7月25日(火)	あやせ こうえん ほか 綾瀬スポーツ公園 他
陸上競技部	県通信大会 7月17日(月)・7月21日(金) 九校対抗 8月26日(土)・27日(日)	れもんがすたじあむひらつか レモンガススタジアム平塚
男子ソフトテニス部	県央大会 7月21日(金) 個人戦	あつぎしえいなんもうり 厚木市宮南毛利スポーツセンター テニスコート
女子ソフトテニス部	県央大会 7月21日(金) 個人戦	あつぎしえいなんもうり 厚木市宮南毛利スポーツセンター テニスコート

男子バスケット ボール部	県央大会 7月23日(日)～7月25日(火)	林中・相川中・柏ヶ谷中・ 西中・大和スポーツセンター
女子バスケット ボール部	県央大会 7月23日(日)～7月25日(火)	林中・相川中・柏ヶ谷中・ 西中・大和スポーツセンター
剣道部	県央大会 7月22日(土) 男子・女子	海老名北部体育館
バレーボール部	県央大会 7月21日(金)	座間市立南中学校
卓球部	県央大会 7月22日(土) 女子団体戦 7月22日(土) 男子団体戦 7月24日(月) 男女個人戦	綾瀬スポーツセンター 綾瀬スポーツセンター 綾瀬スポーツセンター
吹奏楽部	県央吹奏楽コンクール 7月28日(金)	綾瀬市オーエンス文化会館
美術部	学外展示 8月19日(土)～20日(日) 10時～16時(最終日は15時まで) 要上履	南林間コミュニティセンター 2階 集会室
合唱部	TBSこども音楽コンクール予選 7月27日(木) NHK全国学校音楽コンクール予選 8月4日(金)	江戸川区総合区民センター 相模女子大学グリーンホール(大ホール)

学校閉庁日について

大和市立小中学校では、学校閉庁日と電話対応時間について、次のようになりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

学校閉庁日について

令和5年8月10日(木)、14日(月)、15日(火)は学校閉庁日になります。学校閉庁日は、終日、電話対応などの対外的な業務は停止されます。事故等で緊急に連絡を要する場合に限り、下記の大和市教育委員会に連絡(8時30分～17時15分)をしてください。

連絡先	学校施設に関すること	教育総務課	046-260-5203
	児童・生徒に関すること	指導室	046-260-5210
	転入・転出に関すること	学校教育課	046-260-5208

電話対応時間について

夏休み期間の学校への電話は、8時30分～17時にお願ひします。この時間以外は留守番メッセージ(録音はできません)になりますので、ご注意ください。また、校内の見回りや昼休憩等により、電話に出られない場合があります。

8月の予定

2日、3日	寺子屋(全学年)
4日	寺子屋(3学年)
21日～23日	寺子屋(全学年)
28日	始業式
30日、31日	教育相談

自己を磨き鍛えよう

8月の月間努力目標：〈 余暇活用 〉

一学期の生活を振り返り、夏休みの余暇活用を通して、自分の能力・性格・考え方・特性などをしっかりとみつめ、理解しよう。